



# 三島学園報

NO.14  
2010.6





## 大学・生活美術学科 第2回NAU-TSBU学生交流展

昨年、アリゾナ州立北アリゾナ大学(NAU)からグロブスミス局長とチャールズ副局長が来校したことについては、前回、お伝えしたが、今回はその後の進捗状況について報告する。今年3月末、大学生生活美術学科学生7名と教職員4名が北アリゾナ大学を訪問し、第1回NAU-TSBU学生交流展を北アリゾナ大学ギャラリーにて開催した。幸運にも参加できた学生からは、「また戻ってきたい」、「もっと内容のある作品がつかれるよう努力したい」、「はじめて、英語を学ぶ意欲が沸いた」等、大変ポジティブな感想が多数寄せられた。

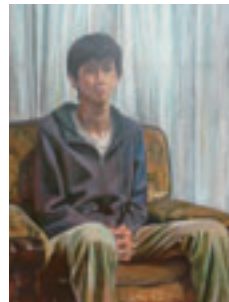


現在、国際交流室と生活美術学科は今年6月に宮城県美術館県民ギャラリーにて開催される第2回NAU-TSBU学生交流展の開催に向け、準備を進めている。第1回交流展において、学生たちがNAUの方々の暖かいホスピタリティにふれ、大きく成長したことをふまえ、今回は、人と人との関わりにより重きをおいた交流を実践する所存である。この日米文化交流の貴重な機会を契りあるものとし、北アリゾナ大学と本学との恒久的フレンドシップを育むために、教員及び学生がホストファミリーとしてもゲストをもてなすことになっている。



## 第74回河北美術展 ～東北生活文化大学高等学校 入賞・入選10作品～

平成22年4月23日より5月5日まで第74回河北美術展が藤崎本館7階催事場で開かれた。東北をはじめとする全国からの一般の作品応募点数は1,110点にのぼった。今回、本校の美術コースの生徒と教員が出品し、入賞者が4名、賞候補者が1名、入選者が5名と素晴らしい結果を成し遂げた。特に洋画部門では21年度美術コース卒業の荒木悟君(現在:大学・生活美術学科1年)の油彩による、時間をかけて丁寧に描かれた自画像が今年度の洋画部門933点の頂点の賞に値する河北賞を受賞した。他にも同じく21年度卒業の清瑞奈さん(現在:山形大学1年)がシルクスクリンという版画の技法とアクリル絵の具によるドローイングを用いた表現で、自らの心象世界を見事に表現し東北電力賞を受賞、在校生では3年生の梶浦正人君が一次次郎賞、本校美術教諭の齋藤正和先生も宮城県芸術協会賞を受賞。また、3年生の今野大地君は洋画部門賞候補と彫刻部門で入選という2部門入選を果たすなど、入選者も5名と生文大高校の若き力が大活躍した。今年は学園110周年、そして今年で美術コースは10期生を迎え、10周年目として節目ある年の初めに良いスタートを切ることができ、今後の活躍にさらに期待が膨らむ報告となった。



「17歳の私」H21年度卒業生  
(大学・生活美術学科1年) 荒木 悟



「2001・09・11」  
3年10組 梶浦 正人



## 大学・服飾文化専攻 展示会&ファッションショー

今回は、服飾文化専攻の学生の課外活動を紹介します。まず、一つめは「mishima & Co. 2010展示会」。2010年2月10日(水)～13日(土)にかけてオンワードスクエアGALLERY(オンワード檜山仙台店1階)で行われた。学生の企画力と想像力の向上を目指す授業「ブランドマネジメント演習」の成果である。二つめは、2010年2月28日に仙台三越定禅寺通り館6階エルパーク仙台スタジオホールで行われたFashion Show「Power of Expression」である。服飾文化のみならず、学内のさまざまな学生諸兄姉が協力し、成功をおさめた。この他、健康栄養学専攻でも課題研究や各課外活動を通して積極的に社会に貢献している。実践的な力をもつバランスのとれた人材を輩出していきたい所存である。



## 大学・短大、シンボルマークをリニューアル

平成22年度より、大学・短大のシンボルマークが新しくなった。東北生活文化大学の英語表記の頭文字「TSB」をモチーフに、各ラインを繋いだシンボルマーク。デザインは大学生生活美術学科出身のデザイナー宇都宮理人氏。人を結び、そして繋ぐことが生活文化の原点であり、多彩な専門分野の新しい完成を育てていく未来への羽ばたきをイメージした。



## 短大第三者評価 認定

本学(東北生活文化大学短期大学部)は、財団法人短期大学基準協会による、平成21年度第三者評価の結果、3月18日付で適格と認定された。



## 大学・家政学科

- 課題研究発表会／平成22年1月23日(三島学園百周年記念棟)
- 課題研究展／平成22年3月15日(東北生活文化大学5号館)

東北生活文化大学家政学科では、例年卒業研究の成果を公開している。今年も2009年度の4年生による口頭発表会とポスターと製作作品の展示が上記の日程で行なわれた。今年は26題の研究結果が公開された。3年間で学んだ内容から選んだ課題研究のテーマを、約1年間かけて研究したものである。分野は、言語と生活、衣生活研究、染色学、被服科学、食物学、健康医学、食品学、応用生物化学、応用食品栄養学、給食経営管理、臨床栄養学、栄養教育学、生活情報学にわたる。発表会では、学生の熱心な発表が続き、活発な質疑応答が交わされた。卒業式当日の課題研究展では、作品やポスター展示を行い、御父兄をはじめ、皆様に研究成果を御覧いただいた。



## 大学・生活美術学科

- 生活美術学科卒業制作展／平成22年2月12日～17日  
(せんだいメディアテーク5Fギャラリーa,b)

第42回生活美術学科卒業制作展が、せんだいメディアテークで開催された。

日本画、洋画、彫刻、イラスト画、染色、テキスタイル、木工、漆芸、ステンドグラス、映像、インスタレーション作品と、実に多種多様な作品がギャラリーを埋め尽くし、非常に見応えのある展示となった。会期中にはギャラリートークも開催され、学生達が自身の作品の様々な側面を語り、教員が学生作品についての解説を行った。



## 短大・生活文化学科

- 作品展示発表会  
／平成22年2月24日～26日(イズミティ-21展示室)

生活学専攻2年生の課題研究(染色・被服構成学・シュガークラブ・情報造形・西洋文化研究・健康社会学)の展示発表と、子ども生活専攻2年生のエプロンシアター、パネルシアター、お話し袋などの作品展示を行った。2日目には、生活学専攻の健康社会学と情報造形分野の口頭発表も行われた。また、子ども生活専攻は、昨年に引き続き子ども向けのミニステージ発表を催した。近隣の保育所からの来場もあり、展示のみならず、直接学生の姿を通じた充実した発表会となった。



## 高校・美術コース

- 第7回美術コース卒業制作展『「汁」～己が絞りかすになるまで～』  
／平成22年2月16日～21日(宮城県美術館県民ギャラリー)

平成22年2月16日(火)～21日(日)、宮城県美術館県民ギャラリーにて第7回東北生活文化大学高等学校美術コース卒業制作展が開催された。「汁」～己が絞りかすになるまで～と言うテーマのもと、美術コース53名が見事に切磋琢磨し合い、多種多様な作品を高校3年間の集大成として発表した。

毎年恒例のプレ卒展では2年生・1年生の授業課題や課外活動の作品展示を同会場で行い、先輩達の活動を影で支えながら自分達も大きな刺激を受けていた。年々先輩、後輩の繋がりもさらに深まり、美術コース全学年で河北展に挑み、河北賞受賞などの快挙を遂げ、今後の活躍にも期待したい。



## 学生・生徒の活躍

### 大学短大

- 大学・生活美術学科
- 第74回河北美術展  
【洋画部門の部／河北賞】  
荒木 悟(1年)

- 【洋画部門の部／入選】
- 荒木香澄(1年)・佐藤麻衣子(1年)・黒田阿未(2年)・高橋多恵子(3年)・後藤和紀(4年)・庄司こずえ(4年)

- モダンアート2010【版画部門の部／入選】角田沙織(4年)
- 住まいのインテリアコーディネートコンテスト2010  
【デザイン／学生プランニング部門／支部長賞】  
大場志穂(3年)

### 高校

- ソフトボール部
- 第7回クリスマスカップinシェルコム ソフトボール大会【準優勝】
- 第45回宮城県高等学校選抜ソフトボール大会【第3位】
- 第29回宮城県私立高等学校女子ソフトボール選手権大会【優勝】
- バドミントン部
- 第27回市長杯泉区学校対抗バドミントン大会  
【女子1部／準優勝】【男子2部／優勝】
- 第33回宮城県私立高等学校バドミントン大会  
【優秀選手賞】田中亮治・永野里奈
- バスケットボール部
- 第37回宮城県私立高等学校  
バスケットボール選手権大会春季大会【第3位】
- 剣道部
- 第37回宮城県高体連仙塩支部剣道大会【女子団体／第3位】
- バレーボール部
- 宮城県高体連バレーボール専門部 表彰  
【優秀選手賞】折居真依・塗有砂・佐々木利佳子  
【功労賞】竹之内睦美
- 第31回仙台市私立高等学校女子バレーボール春季大会  
【スパイク賞】佐藤彩夏

- 弓道部
- 宮城県高等学校体育連盟  
【弓道専門部／功労賞】石川礎・刀根友紀乃
- サッカー部
- 宮城県サッカー協会【功労賞】奈良場宗太
- 少林寺拳法部
- 第47回仙台市民総合体育大会少林寺拳法  
【高校男子 級の部／第2位 優秀賞】加藤豪・鈴木健斗  
【高校男子 初段の部／第2位 優秀賞】嶺岸和貴・本宮悠斗
- 美術部・デッサン部
- 平成21年度東北工業大学工学部建築学科  
【第3回東北の建築を描く展】  
【特別賞】清 瑞奈・丹野大貴・数本冨英佳
- 第62回塩竈市美術展  
【仙台放送賞】佐藤 春貴【洋画奨励賞】今野大地  
【入選】高橋ひとみ・荒木 悟
- 第62回宮城県高等学校美術展  
【優秀賞】佐藤麻依子・清 瑞奈【ポスター賞】稲葉萌南
- 第62回宮城県高等学校美術展  
【優秀賞】石川真礼【ポスター賞】藤川枝緒吏

- 2009ふるさとの風景展  
【優秀賞】今野大地
- 第74回河北美術展  
【一力次郎賞・洋画の部】梶浦正人  
【賞候補／洋画の部】今野大地  
【入選／彫刻部門】今野大地  
【入選／洋画の部】数本冨英佳・高橋優・成田真梨菜
- 商業科
- 日本情報処理検定協会 検定委員長賞  
阿部幸知子・星 真人・門馬秀法・安部真里菜・新井香織・川口真輝
- 社団法人全国経理教育協会賞  
熊谷美郷・三浦さとみ・阿部由
- 日本情報処理検定協会 検定委員長賞  
本郷貴大

## 我が生き方に火を灯したのは!

【ますみ幼稚園 園長】 高橋 守

公教育と、私学教育にお世話になって早や40年目を迎えた。今回は私自身の生き方等において、影響を与えた2名の人物をあげてみたい。その一人は戦国時代の武将である立花宗茂である。生涯にわたり37回戦をしたが一度たりとも負けなかった人物である。感銘を受けたことは義を重んじ理の通らないことは決してしない。終生義に背いたことはしなかったことにある。秀吉に見いだされ大名にとりたてられたが、関ヶ原の戦いにおいて義を貫くべく西軍に味方し大名の座を失ってしまった。しかし慕われる人物はやはり違うものであり、家来が我も我もと浪人する宗茂について回り主人を養ったということである。二代将軍秀忠の相談役となり福島棚倉藩主となり、さらには夏・冬の陣の功績により古巣柳川藩領主に返り咲いた人物である。保育教育をする上で大切なことは理にかなわないことはしないということであろう。大人の都合や単なる感だけで進める教育者もいるが、真の教育者にはほど遠いものである。私たちの仕事は常に子どもを念頭において進めるべきであろう。

二人目は米沢藩上杉鷹山である。かのアメリカ大統領ジョン・F・ケネディーが理想とした人物でもある。米沢藩財政緊迫の折、婿養子に入り行政・経営改革を成功させた人物である。改革の理念として民を富ませる、弱者福祉の重視、改革理念を家来はもとより領民に

まで周知徹底を図ったことにある。改革推進に障害となったのは物理的な壁と意識の壁であった。特に心の壁を打ち破るため、情報の共有、討論の進め、コミュニケーション回路を太く短く、さらにはトップダウン方式とボトムアップ方式をなめらかに行ったことにある。民を富ませ、弱者福祉のため自助、互助、扶助の三位一体の改革を行ったのである。

家臣につきのようなことを述べたという話がある。「やる気のある者は自分の胸に火をつけよ。そして身近なところでその火を他に移せ…」とある。まさに小さなことから段々広げていった人物でもある。弱者重視の根底には自分の奥方があったのではと推察される。と言うのは奥方は現代風に言えば発達遅滞であったと言われている。絶えず鷹山は褒め称えることをしたという話も残っている。

経営にあたる者は、どんな子に育みたいのか、どんな園を作り上げたいのかといった経営目的を明確にし職員、保護者等々に周知徹底を図るべきである。さらには保護者の声を聞きながら、受け止めながら推進していくべきである。園長は保護者子どもたちのために仕事をする存在であり、決して園長のために存在しているのではないと痛感すべきである。改革実践の根本にはやささといったわり、そして思いやりの心が大切である。

## 人事異動について

### ■退職者(3月31日付け)

#### ○教員

- 短大 【特任教授】須藤佑子  
 高校 【教諭】宮崎 久、菅原恵子、伊藤すみ子  
 【常勤講師】酒井正彦、青野 麗、佐藤千明、佐藤節子、地吹典子、佐尾美喜(平成22年2月6日逝去)  
 幼稚園 【教諭】鈴木節子、安住恭子

#### ○職員

- 大学 【副手】大山沙耶子、三浦輝子  
 【受託職員】岩淵ゆかり、大江寿枝  
 短大 【副手】菅間祐子、角田祥子(5月31日付け)  
 高校 【就職支援員】岩淵浩和  
 保育園 【保育士】小齋有紀子  
 【嘱託保育士】菊地かなえ、寺門美香  
 【非常勤保育士】長谷川仁美、須藤美紀

### ■新規採用者(4月1日付け)

#### ○教員

- 大学 【助手】立花布美子  
 短大 【特任講師】針生 隆  
 高校 【常勤講師】東 伸二、遠藤愛弓、勝又健太、久保田知愛、金野裕美、佐藤幸広、下田幸大、千葉晴海、大友伸昭、竹下美琴、竹下もゆる、永野沙織、藤澤大輔、山下美緒子、渡部 愛  
 幼稚園 【契約教諭】柳田佑子、佐藤香織、菅原 南

#### ○職員

- 大学 【副手】岩淵ゆかり  
 【事務補佐員】大江寿枝  
 短大 【副手】三瓶 瞳  
 高校 【就職支援員】宮崎 久  
 保育園 【嘱託保育士】伊藤桃子、藏中桂子  
 【非常勤保育士】清野智佳子  
 子育て支援センター  
 【職員】千田静子(保育園非常勤保育士兼務)  
 短大 【副手】五十嵐 由(6月1日付け)

### ■昇格等(4月1日付け)

#### ○教員

- 大学 【教授】鈴木裕行(准教授)  
 【助教】八巻美智子(助手)  
 短大 【特任教授】大坪 豊(特任准教授)  
 高校 【教頭】吉田 実、沼澤 隆  
 【教諭】ブシャーシルベ、齋藤正和、佐藤香織、武者仁美(常勤講師)

#### ○職員

- 大学 【教務課長代行】松田知子(教務課主任)

# 平成22年度年間主要行事予定表 (平成22年4月～平成23年3月)

月	大学・短大	高校	幼稚園	保育園
4	5. 入学式 6,7. ガイダンス 7,8. 新入生 オリエンテーションキャンプ 短大2年研修旅行 9. 前期授業開始	8. 入学式・始業式・新任式 9. 第1回学力テスト 15,16. 新入生オリエンテーション(松島) 27,28. 球技大会 30. 遠足	12. 始園式 13. 入園式 30. 保育参観・ 父母の会総会	3. 入園式・はじまりの会 27. 内科検診  13. 歯科検診 15. 保護者の会 19. 親子遠足
5	21,22. 大美1年研修旅行	8. 模擬試験 19. 生徒総会 22. PTA総会・保護者懇談会	11. 内科検診 13. 歯科検診 14. 親子遠足	9,16. 保育参観・懇談会
6	5. 後援会総会 12. 体育祭 26. オープンキャンパス	5~7. 高校総体 14~18. 中間考査 24. 芸術鑑賞会	19. 親子体操	3. 保護者の会 5. プール開き 7. 七夕まつり 17. 夏まつり 27. 内科検診
7	24. オープンキャンパス	10. 第1回学校説明会 21~23. 三者面談 21~25. 夏季休業  26. 第2回学力テスト	10. 夏まつりバザー 16. 終園式 7/17~8/25. 夏休み	4.5. お泊り保育 26. 始園式
8	~9/18. 夏季休業 2~5. 大美・高大連携 デッサンセミナー 8. オープンキャンパス	4,5. 生文祭 11. 第2回学校説明会 21~28. 期末考査 28. 前期終業式	11. 祖父参観	9. 運動会 29. いも煮会
9	7~9. 博物館実習旅行 14~17. 大家2年(服専)研修旅行 7~11. 大美2年美術鑑賞旅行 21. 後期授業開始	1. 後期始業式・衣替 8. 体育祭 25. 生徒総会 26. 私学振興大会	2. 運動会 29. 避難訓練	15. 保護者の会
10	23. オープンキャンパス 23,24. 大学祭	6. 第3回学校説明会 15~18. 中間考査(2年) 22~25. 修学旅行(2年) 22~26. 中間考査(1・3年)	20. 発表会	4. クリスマス発表会 17. もちつき会
11	13. 学校推薦入試	21~1/6. 冬季休業	11. 始園式 21. こま回し大会	3. 豆まき会 8,10,15. 保育参観・懇談会
12	4. 自己推薦入試 18. 大家課題研究発表会 24. 短大成人祝賀行事	推薦入試 25~31. 学年末考査(3年)  一般入試 25. 平和を想う日~柿Peace~	17. 終園式 20~1/9. 冬季休業	3. ひなまつり会 12. 卒園式 25. 大きくなったお祝いの会
1	~1/10. 冬季休業		1. 一日入園	
2	3,4. 一般入試(A日程) 11~16. 大美卒業制作展 23~25. 短大作品展示・発表会			
3	4. 一般入試(B日程) 10~. 春季休業 15. 学位記授与式・ 卒業証書授与式 大家課題研究展			

※学園創立記念日……10月27日

## 学生・生徒・園児 在籍数

(平成22年5月1日現在)

【単位:人】

区分	1年	2年	3年	4年	合計	
大学	家政学科	69(11)	54(5)	55(6)	65(13)	243(35)
	生活美術学科	34(9)	50(10)	31(3)	52(6)	167(28)
短大	小計	103(20)	104(15)	86(9)	117(19)	410(63)
	生活学専攻	19(2)	22(0)			41(2)
高校	子ども生活専攻	66(5)	50(12)			116(17)
	小計	85(7)	72(12)			157(19)
幼稚園	普通科	370(141)	347(131)	314(141)		1,031(413)
	商業科	74(57)	80(57)	67(46)		221(160)
保育園	小計	444(198)	427(188)	381(187)		1,252(537)
	年少	17(9)	38(19)	25(11)		80(39)
合計	0歳児		1・2歳児	3歳児	4・5歳児	
	6(4)	24(13)	14(10)	25(10)	69(37)	
合計	655(238)	665(247)	506(217)	142(29)	1,968(731)	

( )男子の人数

## 役員並びに評議員数調

(平成22年5月1日現在) 【単位:人】

区分	理事	監事	評議員(理事兼務者)
男	7	2	13(6)
女	1		7(1)
計	8	2	20(7)

## 教職員数調

(平成22年5月1日現在)

【単位:人】

職名	学長 校長	教授 教諭 保育士	准教授 養護教諭 教諭	講師 助教	助手	事務職員	現業職員	小計	副手 事務補佐員	契約教員 非常勤保育士	臨時職員	嘱託栄養士	常勤講師 嘱託保育士 等	非常勤講師	小計	合計
大学	1	15	5	10	4	12		47	7		2			34	43	90
短大	(1)	5	3	7		3	1	19	5		1			11	17	36
高校	1	43	1			9	2	56			6		21	47	74	130
幼稚園	1	3					1	5		4					4	9
保育園	1	5						6		2	1	1	7		11	17
合計	4	71	9	17	4	24	4	133	12	6	10	1	28	92	149	282

# 平成21年度学校法人計算書類

平成21年度資金収支及び消費収支の概要は表1・2・3・4のとおりである。表中の予算は、平成22年3月に見直し作成した補正予算の金額である。  
(千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。)

●表1.平成21年度資金収支計算書(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで) [単位:千円]

収入の部	予算	決算	差異	支出の部	予算	決算	差異
学生生徒納付金収入	1,193,638	1,192,725	913	人件費支出	1,280,828	1,288,657	△7,829
手数料収入	25,427	25,886	△459	教育研究経費支出	318,406	319,022	△616
寄付金収入	12,743	14,473	△1,730	管理経費支出	142,709	145,245	△2,536
補助金収入	544,907	548,293	△3,386	借入金等利息支出	7,879	8,141	△262
資産運用収入	4,000	6,271	△2,271	借入金返済支出	47,040	47,100	△60
資産売却収入	50,225	50,225	0	施設関係支出	118,434	118,835	△401
事業収入	93,083	96,825	△3,742	設備関係支出	30,183	26,095	4,088
雑収入	104,965	106,252	△1,287	その他の支出	160,411	161,402	△991
借入金等収入	40,000	40,000	0	(予備費)	60		60
前受金収入	199,791	215,381	△15,590	資金支出調整勘定	△79,220	△87,088	7,868
その他の収入	142,923	144,956	△2,033	次年度繰越支払資金	697,048	735,053	△38,005
資金収入調整勘定	△289,773	△280,675	△9,098				
前年度繰越支払資金	601,850	601,850	0				
収入の部合計	2,723,779	2,762,465	△38,686	支出の部合計	2,723,779	2,762,465	△38,686

差異=予算-決算

●表2.平成21年度消費収支計算書(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで) [単位:千円]

収入の部	予算	決算	差異	支出の部	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,193,638	1,192,725	913	人件費	1,280,828	1,288,261	△7,433
手数料	25,427	25,886	△459	教育研究経費	437,347	438,351	△1,004
寄付金	12,743	15,737	△2,994	管理経費	162,010	164,118	△2,108
補助金	544,907	548,293	△3,386	借入金等利息	7,879	8,141	△262
資産運用収入	4,000	6,271	△2,271	資産処分差額	1,000	1,151	△151
事業収入	93,083	96,825	△3,742	徴収不能引当金繰入額	15,000	2,561	12,439
雑収入	104,965	106,252	△1,287	徴収不能額	0	944	△944
帰属収入合計	1,978,763	1,991,992	△13,229	予備費	60	0	60
基本金繰入額合計	△132,190	△129,255	△2,935				
消費収入の部合計	1,846,573	1,862,737	△16,164	消費支出の部合計	1,904,125	1,093,531	593
				当年度消費収入超過額	△57,552	△40,793	
				前年度繰越消費支出超過額	2,511,405	2,511,405	
				翌年度繰越消費支出超過額	2,568,957	2,552,199	

差異=予算-決算

また、貸借対照表について、前年度からの資産と負債の増減は表3のとおりである。  
(百万円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致していない場合がある。)

●表3.貸借対照表(平成22年3月31日) [単位:千円]

科目	本年度末	前年度末	増減	
資産の部				
固定資産	3,418,419	3,411,560	6,859	
流動資産	800,595	719,863	80,732	
資産の部合計	4,219,014	4,131,423	87,591	
負債の部				
固定負債	622,299	624,575	△2,276	
流動負債	396,675	395,270	1,405	
負債の部合計(1)	1,018,975	1,019,845	△870	
基本金の部	5,752,237	5,622,982	129,255	
消費収支差額の部	消費収支差額合計(3)	△2,552,199	△2,511,405	△40,794
(1)+(2)+(3)	4,219,014	4,131,423	87,591	

また、財産目録は表4のとおりである。  
(百万円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致していない場合がある。)

●表4.財産目録 [単位:千円]

区分	金額
資産額	
1 基本財産	3,418,419
2 運用財産	800,585
合計(資産総額)	4,219,014
負債額	
1 固定負債	622,299
2 流動負債	396,675
合計(負債総額)	1,018,975
正味財産(資産総額-負債総額)	3,200,038

# 平成22年度収支予算書

平成22年度資金収支予算及び消費収支予算の概要は表5・6のとおりである。表中の予算は、平成22年3月に見直し作成した21年度補正予算の金額である。  
(千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。)

●表5.平成22年度資金収支予算書(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで) [単位:千円]

収入の部	本年度予算	前年度予算	差異	支出の部	本年度予算	前年度予算	差異
学生生徒納付金収入	1,170,895	1,193,638	△22,743	人件費支出	1,170,650	1,280,828	△110,178
手数料収入	22,410	25,427	△3,017	教育研究経費支出	231,730	313,467	△81,737
寄付金収入	11,000	12,743	△1,743	管理経費支出	149,510	142,709	6,801
補助金収入	485,480	544,907	△59,427	借入金等利息支出	7,625	7,879	△254
資産運用収入	3,400	4,000	△600	借入金返済支出	57,100	47,040	10,060
資産売却収入	0	50,225	△50,225	施設関係支出	19,500	118,434	△98,934
事業収入	79,340	93,083	△13,743	設備関係支出	17,500	30,183	△12,683
雑収入	27,000	104,965	△77,965	その他の支出	330,420	160,411	170,009
借入金等収入	0	40,000	△40,000	(予備費)	5,000	5,000	4,940
前受金収入	196,385	199,791	△3,406	資金支出調整勘定	△14,750	△79,220	64,470
その他の収入	336,003	142,923	193,080	次年度繰越支払資金	839,765	697,048	142,717
資金収入調整勘定	△214,911	△289,773	74,862				
前年度繰越支払資金	697,048	601,850	95,198				
収入の部合計	2,814,050	2,723,779	90,271	支出の部合計	2,814,050	2,723,779	90,271

差異=当年予算-前年決算

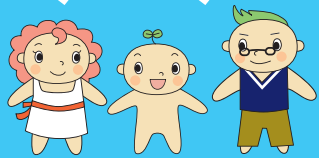
●表6.平成22年度消費収支予算書(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで) [単位:千円]

収入の部	本年度予算	前年度予算	差異	支出の部	本年度予算	前年度予算	差異
学生生徒等納付金	1,170,895	1,193,638	△22,743	人件費	1,170,650	1,280,828	△110,178
手数料	22,410	25,427	△3,017	教育研究経費	348,230	432,408	△84,178
寄付金	11,000	12,743	△1,743	管理経費	168,430	162,010	6,420
補助金	485,480	544,907	△59,427	借入金等利息	7,625	7,879	△254
資産運用収入	3,400	4,000	△600	資産処分差額	1,000	1,000	0
事業収入	79,340	93,083	△13,743	徴収不能引当金繰入額	15,000	15,000	0
雑収入	27,000	104,965	△77,965	徴収不能額	0	0	0
				予備費	5,000	5,000	0
帰属収入合計	1,799,525	1,978,763	△179,238				
基本金繰入額合計	△68,900	△132,190	63,290				
消費収入の部合計	1,730,625	1,846,573	△115,948	消費支出の部合計	1,715,935	1,904,125	△188,190
				当年度消費収入超過額		57,552	
				当年度消費収入超過額	14,690		
				前年度繰越消費支出超過額	2,568,957	2,511,405	
				翌年度繰越消費支出超過額	2,554,267	2,568,957	

差異=当年予算-前年決算

## 子育て・家庭支援センター

# のびのび



### 親子でのびのび

(月・水・金の施設開放プログラム)

◎開催計画: 毎週月・水・金曜日  
午前10時から12時30分

◎内容: 支援センターを中心に学園内を開放します。センター内でおこさまと遊んでいたいたり、季節の草花を探しながら散歩をしていただけます。

センターでは、専任の保育士がみなさんをお待ちしております。子育てに関することなど、一緒に考えていきましょう。

### のびのびくらぶ

(平日の午前中のプログラム)

◎開催計画: 毎月水曜日 午前10時から11時30分

◎内容: 親子の遊びをテーマに、レクチャーと実践を本学園すみ保育園の保育士と一緒にいたします。

5月12日(水) 自然とあそぼう [申込開始 4月28日(水)]  
 5月26日(水) 小麦粉粘土であそぼう [申込開始 5月13日(水)]  
 6月 9日(水) つくってあそぼう [申込開始 5月26日(水)]  
 6月23日(水) リズムであそぼう [申込開始 6月10日(水)]  
 7月 7日(水) セタかきりをつくらう [申込開始 6月24日(木)]  
 7月21日(水) 水あそびを楽しもう [申込開始 7月 8日(木)]

■申込・問い合わせ先 子育て・家庭支援センター事務局 TEL.022-272-7511

# 近況報告

## 東北生活文化大学

### 家政学科

平成22年4月、家政学科服飾文化専攻・健康栄養学専攻においては、鈴木裕行准教授が教授に、また八巻美智子助手が助教に昇格することとなった。遡る3月には服飾文化専攻22名、健康栄養学専攻37名の卒業生を送り出した。企業や教育現場で新社会人として、また病院や施設などで管理栄養士・栄養士としてそれぞれ活躍している。さらに2月には、ファッションショーがエルパーク仙台で行われ、好評を博した。

学園のホームページがリニューアルして暫く経つが、家政学科では各専攻のニュースのほかに、「家政学科リレーエッセイ」を発信している。毎月1日に助手・副手からの記事、10日には教員からの記事が掲載されている。匿名の記事が多いが、どの記事を誰が書いたのか想像しながら読んでいただきたい。未読の方はぜひ一読くださいませ。

### 生活美術学科

1月から3月にかけて、各種ゼミ展や秋に実施された学科内コンクールの画廊賞を戴いた学生等の展覧会が数多く開催された。特に2月の卒展には2千名の方が訪れ盛況に終わった。

この3月末、副手を務めて頂いた三浦輝子さんが5年の任期を終えられ今春から東京藝術大学大学院で染色を学ぶ事となった。益々の活躍を期待する所である。そして新たに岩淵ゆかりさんと立花布美子さんが加わり従来の副手3人制から4人制へと移行した。来年予定している生活美術学科コース制に向けて心強い体制作りの第一歩である。

新学期を迎え、新たに34名の新入生と2名の編入生を迎えた。また今年から北アリゾナ大学との本格的な提携が動き出し、相互交流が実施され本格的な大学グローバル化の時代がやって来た。他のコーナーでも触れているが、連休時の河北展では今回、大賞を含む多く在学生卒業生が入賞受賞の活躍が目立った。今後も様々な機会に学生、卒業生、教員の活躍を期待する。

## 東北生活文化大学短期大学部

平成22年3月に生活学専攻の27名(うち17名が情報処理士、11名がビジネス実務士の資格取得)と、子ども生活専攻の54名(うち52名が保育士資格、45名が幼稚園教諭免許を取得)が卒業し、社会に巣立っていった。

また、長年三島学園に勤務なさった須藤佑子先生と、副手の菅間祐子さんが退職された一方、新年度には針生隆先生と、副手の三瓶瞳さんを迎え、更には、定員を変更(生活学専攻40名、子ども生活専攻60名)し、平成22年度がスタートした。

4月の7・8日には、新入生オリエンテーションキャンプと2年生研修旅行が実施された。岩手の厳美溪に宿泊し、東北ニュージャーランド村(パン作り)、と中尊寺を見学・研修した。天候にも恵まれ、短期大学部の出発にふさわしい素晴らしい研修旅行となった。

## 東北生活文化大学高等学校

去る3月3日に、山形大学、岩手大学など四年制大学81名を含め100名を超える大学・短大進学者をまじえた平成21年度卒業生298名が巣立っていった。専門学校等の進学者を含めると

60%の生徒が進学している。この傾向は近年続いており、なかでも次第に大学進学者が増加しつつある。4月には、美術コース卒業生の荒木悟君、清瑞奈さんが、第74回河北美術展洋画部門で河北賞、東北電力賞をそれぞれ受賞し、在校生8名も入賞、入選を果たし、併せて指導にあたった齋藤正和教諭も宮城県芸術協会賞の栄に浴した。平成15年度に男女共学化して以来、着実に本校の教育活動が成果を上げてきたことの表れの一つと、教職員一同意を強くし、また更なる向上を期している。

また、平成22年度の入学生は443名を数え、3年連続募集定員を超えた。2・3学年の生徒を含めると、現在1,252名が在籍している。少子化が進行するなか、多数の生徒たちの存在は、わが校にとって大きなエネルギーとなっている。生徒たち一人ひとりの個性が輝く学校作りを今後も全力投球していく所存である。

## ますみ幼稚園

4月12日(月)46名で始業式、翌13日(火)34名の入園児を加え、80名でのスタートを切った。生命優先、個の重視、ニーズへの応えを基本理念として、①喜んで活動する子 ②あいさつの出来る子 ③思いやりの深い子 ④明るく元気な子の四つを教育目標と掲げている。子どもたちには分かり易く、「楽しく、やさしく、たくましく」を全員の合い言葉として今年一年粘り強く頑張ろうね。と当初に話をし、先生方一丸となり取り組んでいる。さらには幼児期に身につけさせるべく基本的な生活習慣を徹底して指導している。とりわけ「話を聞く」「はきはき話す」「あいさつ」「礼儀作法」を重点的に日々の保育において指導徹底を図っている。

はたまた未就園児を対象とした「キッズクラブ」も50名近く申し込みがあり、充実した内容にしていきたいと考えている。

本年度も保護者からの幼稚園評価を踏まえ、より良い改善策を創意工夫し邁進したいと考えている。教職員の入れ替えが数名あったが、幸いにも現在は心一つにまとまり、何をやるにしても2名の主任を中心に報告・連絡・相談を密にし意思疎通を図りながら常に前向きな姿勢で臨みたい。子どもに愛され、保護者に信頼され、地域の人から声をかけられる園づくりを目指す所存である。

## ますみ保育園

仙台市の保育園に入園できずにいる待機児童数は、平成22年4月1日現在で594人である。

ますみ保育園でも、今年度60名定員に69名入園で、特に1歳児の入園希望が多く、入園できないお子さんもいた。ますみ保育園では「よく遊び意欲的に生活できる子ども」を保育方針として、目の前に広がる大年寺の自然の中で、友だちとふれあい遊ぶ中で「丈夫な体」「思いやり」「豊かな感性」などを培えるよう日々保育をすすめている。

また、専門講師による体操教室やサッカー教室、英会話遊びなどを実施し「心と体」の健やかな成長を促し、児童や保護者から好評である。

今年度も子育て支援を視野に入れながら、地域の子育て家庭を対象とした「あぶるクラブ」や保護者の育児指導を積極的に進め保護者から信頼され、地域から愛される保育園をめざしていく方針である。

### 理事会の 主なる 議題

#### ■平成22年1月16日(仙台ガーデンパレス)

- 大学事務部の組織改革
- アートな職人育成プログラムの後継事業について
- 産学協同教育育成のための協議会立ち上げについて
- 役員報酬等の22年度支給額について

#### ■平成22年3月20日(百周年記念棟2階会議室)

- 平成21年度補正予算案について
- 平成22年度予算案について
- 大学事務部の組織改革について
- 規程類の改定及び新規制定について
- 平成22年3~4月人事について

#### ■平成22年5月29日(百周年記念棟2階会議室)

- 平成21年度学校法人計算書類案について
- 平成21年度監査報告書案、同学校法人の業務及び財産の状況に関する監査報告について
- 学内規程の制定・改正(授業料減免規則の特別措置の短大への適用延長等)
- 名誉教授称号について



## 「17歳の私」

大学・生活美術学科1年（H22.3生文大高卒業） 荒木 悟

第74回河北美術展で河北賞をいただき、とても嬉しいです。私は、恩師であり美術教師である齋藤正和先生に背中を押していただき、この河北美術展に初挑戦しました。この作品は次の進路を考えなければならない高校三年生の時期に描いた高校最後の油彩作品です。将来について作品を通して、自分と向き会い、描き、考えました。励まし、支えていただいた高校の先生方、友達や家族に本当に感謝しています。今後も大好きな油絵を描き続けていきたいと思います。

学校法人 三島学園 学園報 第14号 平成22年6月発行 三島学園広報委員会編集

III 学校法人 三島学園 〒981-8585 仙台市泉区虹の丘1-18 TEL.022-272-7511(代) FAX.022-2727516  
[URL] <http://www.mishima.ac.jp> [E-mail] [hojin@mishima.ac.jp](mailto:hojin@mishima.ac.jp)

印刷／笹氣出版印刷株式会社